

国分寺市障害者計画実施計画の達成状況について (平成27～29年度)

国分寺市 福祉部 障害福祉課

国分寺市障害者計画 施策の体系図

基本理念 障害のある人もない人も、共に住み続けたいまち、ふるさと国分寺

障害のある人もない人も、すべての市民がお互いの個性と人格を認め合い、ともに支え合い、協力し合い、責任を分かち合って生活できる共生社会を目指します。

そのためには、すべての市民が障害について一層の理解を深め、障害のある人が自立して自分らしく生きていけるよう、地域で支える必要があります。

国分寺市は、「障害のある人もない人も、共に住み続けたいまち、ふるさと国分寺」を基本理念として、身体障害、知的障害、精神障害、難病、発達障害、高次脳機能障害など、すべての障害のある人に対して、生涯にわたり総合的で一貫した支援を地域の市民とともに推進します。

基本目標	分野	施策の方向	事業数	
1 自分らしい暮らしへの支援体制づくり	1 生活支援	(1) 相談・支援体制の充実	10	
		(2) 関係機関のネットワークの充実	8	
		(3) サービスの質の向上	3	
		(4) 生活支援サービスの充実	4	
		(5) 経済的支援の充実	32	
2 保健・医療	2 保健・医療	(1) 障害の早期発見・早期支援	10	
		(2) 障害のある人の健康の維持・増進	5	
		(3) 保健・医療・福祉の連携	1	
2 自分らしい社会参加や学びへの支援	1 教育・文化芸術活動・スポーツ等	(1) 療育・教育の充実（障害児支援の充実）	3	
		(2) 生涯学習・スポーツの推進	9	
		(3) 交流・福祉教育の充実	2	
3 自分らしい働きかたへの支援	1 雇用・就業・経済的支援の充実	(1) 一般就労支援の充実	2	
		(2) 福祉的就労の充実	8	
		(3) 働く力の向上	4	
		(4) 地域社会への働きかけ	5	
4 共に生きる地域社会づくり	1 情報アクセシビリティ	(1) 情報提供体制の充実	7	
		(2) 意思疎通支援の充実	-	
	2 生活環境	2 生活環境	(1) 生活拠点の整備	3
			(2) 移動支援の充実	5
			(3) ユニバーサルデザインの推進	8
	3 安全・安心	3 安全・安心	(1) 防災対策の推進	9
			(2) 防犯・消費者被害対策の推進	
	4 差別の解消および権利擁護の推進	4 差別の解消および権利擁護の推進	(1) 心のバリアフリーの推進（障害を理由とする差別の解消の推進）	10
(2) 権利擁護の推進			5	
5 自立を支援する人づくり	1 人材の養成と確保	(1) 障害理解・病気理解の促進	2	
		(2) サービスを担う人材の養成と確保	3	
		(3) ボランティア等の育成・活動強化	4	
		(4) 障害当事者・家族への支援	2	
		(5) 事業者支援の充実	4	

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況概要表

進捗状況		平成27～29年度(再掲を除く)
A(目標を上回った)		17
B(おおむね達成した)		133
C(目標を下回った)		13

A (目標を上回った)

番号	事業番号	施策の方向	事業名	内容	平成29年度実績値	目標値	所管課	備考
1	2	心のバリアフリーの推進(障害を理由とする差別の解消の推進)	「障害者週間」等の記念事業の推進	障害者福祉を進める会の行う行事に対し、支援します。	年1回	継続	障害福祉課	障害者週間行事の記念事業にパラリンピストを講師として招いたり、公民館事業であるロビーコンサートと同時開催したり等、様々な取組を実施したことで、より多くの方に参加いただき、障害者への理解促進、普及啓発を進めていくことができた。
2	7	心のバリアフリーの推進(障害を理由とする差別の解消の推進)	市民福祉講座	地域活動支援センターつばさにて、各種福祉講座を実施し、障害のある人に対する理解を深めます。	開催回数 3回	年2回 内容充実	障害福祉課	年3回以上、様々なテーマで市民福祉講座を開催したことで、多くの方に参加いただき、障害者に対する理解を深めることができた。
3	16	情報提供体制の充実	障害者のしおりの作成	障害者のしおり作成にあたり、内容の充実した、わかりやすいものとし積極的に情報提供を行います。	年1回発行	年1回発行 内容拡充	障害福祉課	平成28年度に障害者のしおりの内容を拡充するだけでなく、音声コードの設置・カラーバリアフリーに配慮したユニバーサルな仕様の「障害福祉ガイドブック」を発行したことで、情報提供の充実を図ることができた。
4	18	情報提供体制の充実	声の広報発行事業	声の広報(市報・市議会だより・しるばら・けやきの樹)として、音声録音をしたCDを希望者に提供します。	市報CD述べ人数 560人 選挙CD延べ人数 24人	継続	市政戦略室	平成28年度に障害福祉課から視覚障害者全員に声の広報の発行希望を聴取したことで、以降、利用者数が増え、必要な方にCDを提供することができた。
5	19	情報提供体制の充実	声の公民館だより	視覚障害者への情報提供として、公民館だより「けやきの樹」をCDに吹き込み、希望者に声の広報として届けています。	配布者数 23人	継続	公民館課	平成28年度に障害福祉課から視覚障害者全員に声の公民館だよりの発行希望を聴取したことで、以降、利用者数が増え、必要な方にCDを提供することができた。
6	22	情報提供体制の充実	体育施設等の利用促進	障害のある人が、気軽に施設を利用できるよう、インターネットによる予約システムを導入します。	導入済み	導入	スポーツ振興課	インターネットによる体育施設の予約システムを導入したことで、障害のある人が自宅等で施設を予約できる体制を整えた。
7	32 (155)	相談・支援体制の充実	相談支援機能強化	市の窓口における相談支援機能を強化するため、専門的能力を有する職員を配置します。	社会福祉士4名 保健師4名	継続	障害福祉課	市の窓口配置する専門職を増やしたことで、相談支援体制の充実を図ることができた。

番号	事業番号	施策の方向	事業名	内容	平成29年度実績値	目標値	所管課	備考
8	57	障害のある人の健康の維持・増進	健康講座・健康教室	健康的な生活習慣を参加者自身で考えてもらうように医師などによる健康講座・各種実習を実施します。	医師・歯科医師・健康運動指導士、臨床心理士講座5回、その他健康講座・食育講座8回、出前講座9回開催	12回	健康推進課	回数だけではなく、子どもと一緒にできる講座や託児付病態別予防講座等を実施することで、様々な世代に積極的に参加してもらい、健康の知識を深めることができた。
9	94	生涯学習・スポーツの推進	ロビーコンサート	障害者団体と共催し、同団体の周知と、障害者との交流を目的に、市民グループの参加を広く呼びかけ、毎年開催します。	1回/年 障害者週間行事と共催	継続	公民館課	平成29年度に障害者週間行事と共同開催したことで、より多くの方が参加し、文化芸術活動を通じた地域交流を行うことができた。
10	99	生涯学習・スポーツの推進	声の図書の収集・作成・貸出し	図書を朗読し、カセットに吹き込んだ声の図書、CDに吹き込んだDAISYを収集・作成し、貸し出します。	貸出 698タイトル	貸出 300タイトル	図書館課	図書館で所蔵している資料の他に、国立国会図書館所蔵のデータをダウンロードして提供できるようになったため、利用者の選択の幅が広がり、貸出しタイトルが増え、視覚障害のある方の生涯学習の推進につなげることができた。
11	101	生涯学習・スポーツの推進	拡大読書器	小さな活字では読みにくい人に、図書の文字を大きく見せることのできる拡大読書器を設置します。	設置台数 3台	設置台数 2台	図書館課	拡大読書器の設置台数を増やしたことで、視覚障害のある方が読書しやすい環境を整備することができた。
12	110	地域生活の安心・安全の確保	市民防災まちづくり学校事業	市民防災まちづくり学校を開催し、安全ですみやすいまちづくり、地域づくりの学習の場を広く提供し、安全なまちづくりに努めます。	受講者数50人 累計1,809人	受講者数30人	防災安全課	3箇年全てにおいて目標値を達成し、修了生が地域の防災まちづくりに関する活動において中心的な役割を担っていくことで、地域防災の普及を図ることができた。
13	111	地域生活の安心・安全の確保	防災まちづくり推進地区事業、市民防災推進委員会事業	町会、自治会やコミュニティ協議会などと連携を図り、地域住民による声かけ・見守り運動を推進します。	防災まちづくり推進地区 14地区 委員認定者数 1,234名	新規推進地区数1	防災安全課	防災推進委員と連携し、新規推進地区、認定委員数を増やしたことで、地域住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上につなげることができた。
14	127	障害の早期発見・早期支援	母子保健相談事業	乳幼児母性健康相談や親子ひろばでのミニ相談会や電話・訪問等による個別相談を実施します。	乳幼児母性健康相談9回 親子ひろばミニ相談会18回	乳幼児母性健康相談 9回	健康推進課	専門職が個別相談に応じる乳幼児母性健康相談や親子ひろばミニ相談会の回数を確保し、市民が身近に相談できる体制を整えた。
15	135	一般就労支援の充実	障害者雇用の促進	国分寺市役所の障害者雇用法定雇用率の維持に努めます。	法定雇用率2.3% 市雇用率2.39%	法定雇用率以上	職員課	3箇年とも障害者雇用法定雇用率を上回り、障害者雇用の促進を図った。
16	136	福祉的就労の充実	庁舎内等の製品の販売支援	障害者等が作成した製品を庁舎内駐車場等において利用し、販売することにより訓練意欲の向上を図ります。	8ヶ所 3事業所	拡充	障害福祉課	製品販売の場所を数多く提供することで、障害者の実地訓練の場が充実し、就労意欲を高めることができた。
17	147	働く力の向上	市役所内実習	就労支援センターとの協働により職場実習を実施します。	年5回実施 13名が10日間で3課の作業を実施	年2回実施	障害福祉課	職場体験の回数を確保することで、障害者に様々な職場のルールやマナーを学ぶ機会を提供することができた。

C (目標を下回った)

番号	事業番号	施策の方向	事業名	内容	実績値	目標値	所管課	備考
1	23	ユニバーサルデザインの推進	バリアフリー基本構想策定	基本構想策定に向けた検討を行います。	検討	基本調査実施	まちづくり計画課	国分寺市総合ビジョン実行計画に位置付けた(仮称)道路・交通網計画策定事業と併せて基礎調査を行うこととしたため、検討のみとなった。
2	27	ユニバーサルデザインの推進	公園のバリアフリー化の推進	公園の入口のバリアフリー整備を行います。	53ヶ所	60ヶ所	緑と建築課	緊急性の高い照明灯、遊具、フェンス等施設の修繕や樹木の選定等を実施したため、公園のバリアフリー整備が推進できなかった。今後は公園の遊具整備と合わせて入口のバリアフリー化を進めていくなど、効率的な整備を実施する。
3	31 (154)	相談・支援体制の充実	福祉の総合的な相談窓口の体制整備	福祉の総合的な相談窓口の体制整備が求められていることから、これまでの検討経過を踏まえ、市民が安心して相談できる窓口の体制を整備します。	・機構改革の実施に伴い、第2庁舎1階の福祉保健部及び子ども家庭部の窓口について、ワンストップサービスが可能なレイアウトに変更した。 ・福祉保健部・子ども家庭部相談支援担当者における業務連絡会を開催し、総合相談支援フローチャートや相談支援業務の連携のための仕組み等、総合相談へ向けての検討を行った。 ・地域における「(仮称)地域相談窓口」の試行実施について、地域福祉推進委員会で検討を行った。	体制の整備	地域共生推進課	庁内の相談支援体制の整備としては、市の窓口のレイアウト変更を行い、庁内組織の連携についての検討を行ったが、地域の相談窓口の整備については、検討を進めたものの実施には至らず、今後は(仮称)相談支援担当者連絡会を設置し、試行等の段階を踏みながら実施できるよう検討を進める。
4	33 (156)	相談・支援体制の充実	相談支援	相談支援事業所にて障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整等を総合的に支援します。	7事業所	9事業所	障害福祉課	平成28年度に相談支援事業所の統廃合があったことで、事業所が減少となり、目標値に到達しなかったが、当該事業所で相談業務に従事する相談支援専門員の人数は増加している。
5	51 (183)	サービスの質の向上	ヘルパーレベルアップ研修	事業者連絡会によるヘルパーのレベルアップを目的とした研修を行います。	未実施	継続	障害福祉課	平成28年度に事業者連絡会を廃止したため、研修は未実施となった。今後、基幹相談支援センターによる、サービスの質の向上に向けた支援者向け研修を実施していく。
6	58	障害のある人の健康の維持・増進	特定健康診査・30代健康診査・後期高齢者医療健康診査	市の国民健康保険加入者で40歳以上74歳までの市民、30歳以上の市民、後期高齢者医療制度に加入している市民に健康診査を実施します。	特定健康診査受診率 42.70%	特定健康診査受診率 60%	健康推進課	市報掲載や、納税通知書、保険証送付時などでの勧奨案内、未受診者への再勧奨などで周知を行っているが、目標値が高めであり、到達できなかった。今後は対象者が受診しやすいように環境整備を検討する必要がある。

番号	事業番号	施策の方向	事業名	内容	実績値	目標値	所管課	備考
7	89	経済的支援の充実	国分寺市営自転車駐車場定期使用料減免	身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人の市営自転車駐車場定期使用料を減免します。	減免件数 130件	減免件数 150件	交通対策課	平成28年3月に定期使用の自転車を収容していた国立駅北口自転車駐車場が閉場し、定期の収容台数が減少したことで、目標値に到達しなかった。
8	92	経済的支援の充実	郵送による貸出し・返却	郵送で一般図書・声の図書（朗読カセットやCD）・点字図書などを無料で借出します。	継続（36冊）	拡充	図書館課	本人の代わりに家族が来館し、図書の貸出し・返却をしているため、郵送による貸出しが減少している。
9	98	生涯学習・スポーツの推進	対面朗読	希望する資料を直接利用者に向けて、読み手が朗読します。	実績なし	60回	図書館課	事業番号99「声の図書の収集・作成・貸出」が目標値の貸出数を大きく上回っていることから、視覚障害のある方が、直接出向いて、朗読を求めるより、デジジー図書等を利用しているため、対面朗読の実績がない。
10	100	生涯学習・スポーツの推進	大活字本	小さな活字で読みにくい人には、活字の大きな大活字本を収集し貸出します。	貸出 2,472冊	貸出 3,500冊	図書館課	年度ごとに一定の利用者数が増加することを見込んだが、利用者数に変化がなかったために実績値が大幅に下がっている。また、通いながた図書館の所蔵本は全部読んでしまった利用者もいるため、実績値が伸びなかった。
11	132	療育・教育の充実（障害児支援の充実）	統合保育事業	公立保育園・私立保育園を問わず全園で受入れを実施しています。	19園 （公立5園・私立14園）	全園	子ども子育て事業課	全国的な保育士不足もあり、受入れできる保育園が増加しなかったため、目標値には到達しなかったが、障害児の受入れ人数自体は増加している。
12	141	福祉的就労の充実	放置自転車撤去	放置自転車撤去業務を委託し、就労の場を確保します。	委託障害者団体数 1団体	委託障害者団体数 3団体	交通対策課	駅周辺の放置自転車は減少傾向にあり、新たに事業を拡大していくことが困難であった。
13	177	ボランティア等の育成・活動強化	児童館における、ボランティア受け入れ事業	児童館において、通常の運営以外に、春・夏・冬休み期間中に、社会福祉協議会登録者のボランティアを受け入れます。また、中学生の体験学習や、近隣の各高校や大学からの実習生を受け入れます。	受け入れ人数 53人	受け入れ人数 80人	子ども子育て事業課	全施設積極的にボランティア受け入れを行っているが、目標数値が高く、達成できなかった。

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業1：障害に対する理解や配慮の促進

【達成状況】①A（目標を上回った） ②B（おおむね達成した） ③C（目標を下回った）

事業 番号	成果指標						27～29年度 達成状況	所管課
	事業名	内容	実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
(1) 心のバリアフリーの推進（障害を理由とする差別の解消の推進） 目標：障害に対する理解や配慮が促進される								
1	啓発事業	市報を通じ、障害のある人に対する理解を深めます。	障害者週間啓発記事 年1回	・障害者週間啓発記事 年1回 ・障害者差別解消法 周知記事 年1回 ・障害者差別解消法に係る 民間事業者向け研修会記事 年 1回 ・ヘルプカード及びヘルプ マーク周知記事 年1回	・障害者週間啓発記事 年1回 ・障害者差別解消法に係る講 演会周知記事 年1回 ・ヘルプカード及びヘルプ マーク周知記事 年1回	継続	B	障害福祉課
2	「障害者週間」等の記念事業の推進	障害者福祉を進める会の行う行事に対し、支援します。	年1回	年1回	年1回	継続	A	障害福祉課
3	啓発パンフレットの等の作成・活用	障害者週間行事の一環として、啓発ポスター等を作成し、障害者の理解を深めます。	カレンダー作成	カレンダー作成	カレンダー作成	継続	B	障害福祉課
4	疾病や障害に関する情報の発信	市報・ホームページなどの媒体を活用して、疾病や障害に関する情報や支援にかかわる活動を紹介し、市民や当事者・関係者の理解促進に努めます。	継続	充実	充実	充実	B	障害福祉課
5	職員研修の実施	新任職員研修において、障害の理解を深めるための研修を実施します。	年1回	年1回	年1回	年1回	B	職員課
6	人権教育の推進	障害のある人の人権に対する十分な認識と理解を深めるため、家庭、学校、地域との連携を図りながら、人権教育を推進します。	人権教育推進委員会の 開催回数 年3回 人権教育推進資料の発行 年1回	人権教育推進委員会の 開催回数 年3回 人権教育推進資料の発行 年1回	人権教育推進委員会の 開催回数 年3回 人権教育推進資料の発行 年1回	推進	B	学校指導課
7	市民福祉講座	地域活動支援センターつばさにて、各種福祉講座を実施し、障害のある人に対する理解を深めます。	開催回数 4回	開催回数 3回	開催回数 3回	年2回 内容充実	A	障害福祉課
8	精神保健啓発事業	心の健康に関する講座を実施し、メンタルヘルセルフチェックシステムなどホームページの活用により、精神保健や心の健康についての正しい知識の普及に努めます。	メンタルヘルス講座、 庁内職員向けゲートキーパー 養成講座	メンタルヘルス講座、 庁内職員・市民向けゲート キーパー養成講座	メンタルヘルス講座、庁内職 員対象としたゲートキーパー 養成講座、市報・ホームペー ジ（「心の体温計」運営）に よる情報提供	継続	B	健康推進課
9	地域交流事業	地域活動支援センターI型において、レクリエーション等障害者の自主的な活動、地域住民との交流等を図るための場の提供を行っています。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
10	障害者センターまつり	地域の方々とセンター利用者、その家族、職員が交流し、同センターへの理解を深めるために障害者センターまつりを実施します。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業1：障害に対する理解や配慮の促進

【達成状況】①A（目標を上回った） ②B（おおむね達成した） ③C（目標を下回った）

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		29年度
(2) 権利擁護の推進 目標：障害を理由とする差別が生じることなく、権利が守られる								
11	計画策定等への参加	障害のある人やその家族の声を各種施策に的確に反映するため、積極的な意見聴取に努めます。	継続	継続	継続	継続	B	全課
12	権利擁護センター事業（福祉サービス総合支援事業）	弁護士等による専門相談や第三者性を有する苦情対応機関を設置し、福祉サービス利用に関する苦情への適切な対応を行ってまいります。	苦情相談件数（障害者福祉に係るもの）2件	苦情相談件数（障害者福祉に係るもの）0件	苦情相談件数（障害者福祉に係るもの）0件	苦情対応体制の充実・解決及び改善に係る具体的対応の徹底	B	地域共生推進課 社会福祉協議会
13	オンブズパーソン事業	市の中の組織としてはオンブズパーソン制度があり、今後も有効に活用が図られるよう努めます。	3件	2件	2件	継続	B	政策法務課
14	権利擁護センター事業（日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業））	認知症や知的障害・精神障害等により、日常生活を営むのに支障がある人に対し、福祉サービスに関する相談・助言等のサービス利用援助や、手続き・支払い等の日常的な金銭管理等を行い、地域における福祉サービスを安心して選択・利用でき、主体的に生活することができるよう支援を行います。	契約状況： 知的障害者等：0件 精神障害者等：0件 その他の障害：2件	契約状況： 知的障害者等：0件 精神障害者等：2件 その他の障害：0件	契約状況： 知的障害者等：0件 精神障害者等：5件 その他の障害：0件	契約実績の継続 相談対応体制の充実	B	地域共生推進課 社会福祉協議会
15	権利擁護センター事業（成年後見活用あんしん生活創造事業）	判断能力の低下により自らの財産管理や日常生活を営むことが困難な方やその親族への制度利用支援を行います。	制度利用相談件数 知的障害者：0件 精神障害者：65件 その他の障害：0件	制度利用相談件数 知的障害者：44件 精神障害者：76件 その他障害：0件	制度利用相談件数 知的障害者：13件 精神障害者：82件 その他障害：0件	成年後見利用支援の充実 周知活動	B	地域共生推進課 社会福祉協議会
(3) 情報提供体制の充実 目標：円滑に情報を取得・利用し、意思表示やコミュニケーションを行うことができる								
16	障害者のしおりの作成	障害者のしおり作成にあたり、内容の充実した、わかりやすいものとし積極的に情報提供を行います。	年1回発行	年1回発行 内容拡充	年1回発行	年1回発行 内容拡充	A	障害福祉課
17	居宅介護事業者ガイド	サービスを利用しやすくするために、居宅介護事業者ガイドを作成し、情報提供を行います。	年1回発行	改訂なし	年1回発行	年1回発行	B	障害福祉課
18	声の広報発行事業	声の広報（市報・市議会だより・しろばら・けやきの樹）として、音声録音をしたCDを希望者に提供します。	市報CD述べ人数 395人 選挙CD延べ人数 15人	市報CD述べ人数 474人 選挙CD延べ人数 27人	市報CD述べ人数 560人 選挙CD延べ人数 24人	継続	A	市政戦略室
19	声の公民館だより	視覚障害者への情報提供として、公民館だより「けやきの樹」をCDに吹き込み、希望者に声の広報として届けています。	配布者数 12人	配布者数 25人	配布者数 23人	継続	A	公民館課
20	ホームページ運営	ホームページに音声読み上げソフトを導入し、市からのお知らせや行政サービスイベントなど幅広い情報提供します。	継続	継続	継続	継続	B	市政戦略室
21	ホームページバリアフリー事業	アクセシビリティ（利用しやすさ）の維持・向上のための研修を実施します。	研修回数 1回	研修回数 1回	研修回数 1回	継続	B	市政戦略室
22	体育施設等の利用促進	障害のある人が、気軽に施設を利用できるよう、インターネットによる予約システムを導入します。	検討	導入前準備	導入済み	導入	A	スポーツ振興課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業1：障害に対する理解や配慮の促進

【達成状況】①A（目標を上回った） ②B（おおむね達成した） ③C（目標を下回った）

事業 番号	成果指標						27～29年度 達成状況	所管課
	事業名	内容	実績値			目標値		29年度
			27年度	28年度	29年度	29年度		
(4) ユニバーサルデザインの推進 目標：バリアフリー化を推進し、ユニバーサルデザインに対する意識を向上させる								
23	バリアフリー基本構想策定	基本構想策定に向けた検討を行います。	検討	検討	検討	基本調査実施	C	まちづくり計画課
24	国分寺市まちづくり条例	国分寺市まちづくり条例第43条第3項に基づき、開発事業を行う事業者に対し、基本理念にのっとり、市が実施する施策との調和を図るため、適切な助言又は指導を行います。	事前協議件数 49件	事前協議件数 67件	事前協議件数 66件	事前協議件数 30件	B	まちづくり推進課
25	バリアフリー法・東京都福祉のまちづくりの推進	建築物の建築の際、バリアフリー法・東京都福祉のまちづくり条例に合致し、身体機能に配慮して設計するよう指導していきます。	届出件数 16件	届出件数 18件	届出件数 18件	継続	B	建築指導課
26	点字ブロックの整備	道路整備を行うときは、点字ブロックの効果的な整備を行います。	継続	継続	継続	継続	B	建設事業課
27	公園のバリアフリー化の推進	公園の入口のバリアフリー整備を行います。	52ヶ所	52ヶ所	53ヶ所	60ヶ所	C	緑と建築課
28	障害者用駐車スペースの確保	各公民館に障害者用駐車スペースを整備します。	5館整備済	5館整備済	5館整備済	継続	B	公民館課
29	庁舎等のバリアフリー化の推進	新庁舎建設時は、ユニバーサルデザインを取り入れ、音声や光等で、障害者を誘導できるような設備を備えた庁舎を建設します。	中断	中断	検討	検討	B	契約管財課
30	ノンステップバスの導入要請	誰もが利用しやすいバスにするため、バス事業者に対し、ノンステップバス（低床スロープ付きワンステップバスを含む。）の導入を働きかけます。	継続	継続	継続	継続	B	交通対策課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業2: 相談支援体制の充実

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標			27～29年度達成状況	所管課	
			実績値					目標値
			27年度	28年度	29年度			29年度
(1)相談・支援体制の充実 目標:身近な地域で相談支援を受けることができる								
31	福祉の総合的な相談窓口の体制整備	福祉の総合的な相談窓口の体制整備が求められていることから、これまでの検討経過を踏まえ、市民が安心して相談できる窓口の体制を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画の策定に当たり収集した市民意見のうち、総合相談窓口に関する意見を報告書にまとめた。 ・総合相談窓口の先進市の状況を視察した。 ・厚生労働省が検討している「一体的相談支援・サービス提供」についての勉強会を持ち、総合相談窓口のあり方について、福祉保健部職員の共通認識を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度からの機構改革の実施に伴い、第2庁舎1階の福祉保健部及び子ども家庭部の窓口の在り方について、ワンストップサービスが可能となるようなレイアウト変更の検討を行った。 ・地域における「(仮称)地域相談窓口」の試行実施について、地域福祉推進委員会で検討を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機構改革の実施に伴い、第2庁舎1階の福祉保健部及び子ども家庭部の窓口について、ワンストップサービスが可能なるレイアウトに変更した。 ・福祉保健部・子ども家庭部相談支援担当者における業務連絡会を開催し、総合相談支援フローチャートや相談支援業務の連携のための仕組み等、総合相談へ向けての検討を行った。 ・地域における「(仮称)地域相談窓口」の試行実施について、地域福祉推進委員会で検討を行った。 	体制の整備	C	地域共生推進課
32	相談支援機能強化	市の窓口における相談支援機能を強化するため、専門的能力を有する職員を配置します。	社会福祉士2名 保健師1名	社会福祉士2名 保健師3名	社会福祉士4名 保健師4名	継続	A	障害福祉課
33	相談支援	相談支援事業所にて障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整等を総合的に支援します。	8事業所	7事業所	7事業所	9事業所	C	障害福祉課
34	精神保健医療相談(心の健康相談)	精神科専門医師による個別相談を精神科医師及び保健師が担当し、月1回予約制で実施。精神障害者及びその家族からの医療に関する専門的な相談に応じます。	開催回数 12回 相談者数 26人	開催回数 9回 相談者数 19人	開催回数 10回 相談者数 24人	12回	B	障害福祉課
35	こどもの発達相談	心身の発達に心配のある、または発達に遅れのある子どもに関する相談を実施します。	初診相談者数118件	初診相談者数108件	初診相談者数120件	継続	B	子育て相談室
36	精神保健相談	心の問題や精神障害者の生活相談について、保健師が電話・面接訪問等による相談を行います。	保健師による相談件数 面接:105件 電話:404件 訪問:194件 関係機関連絡:445件	保健師による相談件数 面接:147件 電話:511件 訪問:196件 関係機関連絡:429件	保健師による相談件数 面接:140件 電話:313件 訪問:133件 関係機関連絡:427件	継続	B	障害福祉課
37	高次脳機能障害者支援促進	高次脳機能障害者、その家族等に対する相談支援を実施するとともに、医療機関、就労支援センター等の関係機関との連携を図り、適切な支援を提供します。障害者センターで実施していきます。	1箇所	1箇所	1箇所	継続	B	障害福祉課
38	社会福祉事業協力員事業	身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者及び発達障害者の生活などに関する相談、助言を行う相談員を配置します。	身体障害者3人 知的障害者2人 精神障害者1人 難病患者1人	身体障害者2人 知的障害者2人 精神障害者1人 難病患者1人	身体障害者2人 知的障害者2人 精神障害者1人 難病患者1人	継続	B	障害福祉課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業2: 相談支援体制の充実

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度	29年度	
39	ピアカウンセリング支援	障害者がかかえる、さまざまな問題の解決にあたるための活動としてのピアカウンセリングに対する支援をします。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
40	教育相談事業	適切な教育対応を可能にするために、障害の状態を的確に判断するとともに、保護者等の十分な理解を得るため、教育相談や就学相談との連携を図れるよう努めます。	相談件数 396件	相談件数 383件	相談件数 396件	推進	B	学校指導課
(2)関係機関のネットワークの充実 目標:個々のニーズに対応した支援を総合的に行う								
41	自立支援協議会の運営	地域における障害福祉に関する関係者による連携及び支援の体制に関する協議を行うため自立支援協議会を運営します。	年4回	年3回	年3回	年4回	B	障害福祉課
42	相談支援事業者連絡会の運営	相談支援事業者連絡会を設置・運営し、本人のニーズに則した福祉サービスについて支援していきます。	年3回	年2回 (地域自立支援協議会専門部に再編分を含む)	年4回 (地域自立支援協議会専門部に移行)	年3回	B	障害福祉課
43	居宅介護事業者連絡会の運営	居宅介護事業者連絡会を設置・運営し、事業者間の情報交換及び連携をはかります。	年2回	年2回 (地域自立支援協議会専門部に再編分を含む)	年4回 (地域自立支援協議会専門部に移行)	年4回	B	障害福祉課
44	難病等の相談体制の整備	健康推進課・障害者相談室、障害者センター、保健所などの連携・協力により、相談体制の充実に努めます。	難病等で長期療育の必要がある方へ相談実施、保健所との連携	難病等で長期療育の必要がある方へ相談実施、保健所との連携	難病等で長期療育の必要がある方へ相談実施、保健所との連携	充実	B	健康推進課 障害福祉課
45	障害児(者)の個別支援システムの構築	障害児(者)を一生涯にわたり切れ目なく一貫した支援をすることを目的として、個別の支援に必要な情報を関係機関で共有するためのネットワーク体制作りを、福祉保健部・子ども福祉部・教育部等が協力して推進します。	中断	中断	中断	継続	B	子育て相談室
46	精神保健福祉業務連絡会	市関係機関、保健所、多摩総合精神保健福祉センター、専門の民間事業者、相談事業者などの連携・協力により、相談体制の充実に努めます。	連絡会・世話人会を年6回開催。情報交換・事例検討実施	年3回 (地域自立支援協議会専門部に再編分を含む)	年4回実施 (地域自立支援協議会専門部に移行)	年6回	B	障害福祉課
47	教育・就学相談体制の整備	早期から適切な教育相談・就学相談が行えるよう、関係機関と連携し、相談体制の充実に努めます。	個別支援委員会 年17回	個別支援委員会 年18回	個別支援委員会 年15回	推進	B	学校指導課
48	進学等への支援	中学校課程終了後は、高等学校や特別支援学校の高等部、専門学校や職業訓練校への進学等、多様な選択が可能になるよう関係機関に要請していきます。	特別支援学級が設置されている中学校において実施している	特別支援学級が設置されている中学校において実施している	特別支援学級が設置されている中学校において実施している	推進	B	学校指導課
(3)サービスの質の向上 目標:ニーズに対応したサービスを受けることができる								
49	指導の充実	障害者センターでの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職による指導の充実に努めます。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
50	サービス提供事業所等への指導検査体制の整備	東京都と連携し、サービス提供事業所等への指導検査体制を整備します。	研修等への参加	研修等への参加	研修へ参加するとともに、平成30年度から新たに指導検査担当を設ける体制を整えた。	新規	B	障害福祉課
51	ヘルパーレベルアップ研修	事業者連絡会によるヘルパーのレベルアップを目的とした研修を行います。	未実施	未実施	未実施	継続	C	障害福祉課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業3:ライフステージを通じた支援の仕組みづくり

【達成状況】①A(目標を上回った) ②B(おおむね達成した) ③C(目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
(1)生活支援サービスの充実 目標:多様なニーズのある人がサービスを受けることができる								
52	心身障害者(児)緊急入所保護	在宅の心身障害者を介護している家族が疾病等により、家庭で介護ができなくなった場合に、一時的に施設で緊急的に保護します。	6日	28日	14日	継続	B	障害福祉課
53	生活サポート	介護給付等の対象外となる障害のある人等に対し、生活を維持していく上で必要な支援を行います。	0件	0件	0件	継続	B	障害福祉課
54	重度身体障害者寝具乾燥事業	ひとり暮らしの重度身体障害者で、寝具の自然乾燥が困難な者に対して、寝具乾燥を行います。	2人	3人	2人	継続	B	障害福祉課
55	補装具費の支給	身体障害者手帳をお持ちの人及び対象とされている難病等による障害のある人に、補装具費(購入・修理)を支給することにより、職業その他日常生活の利便をはかるとともに、自立を促進します。	支給決定件数 249件	支給決定件数 231件	支給決定件数 254件	支給決定件数 260件	B	障害福祉課
(2)障害のある人の健康の維持・増進 目標:健康や体力の維持、機能低下を防ぐことができる								
56	成人健康相談事業	管理栄養士による個別の栄養相談、健康推進課保健師等による一般相談を実施します。	個別栄養相談 年10回 心の健康相談 年12回 一般相談 随時	個別栄養相談 年12回 心の健康相談 年9回 一般相談 随時	個別栄養相談 年12回 心の健康相談 年10回 一般相談 随時	個別栄養相談年10回 心の健康相談年12回	B	健康推進課 障害福祉課
57	健康講座・健康教室	健康的な生活習慣を参加者自身で考えてもらうように医師などによる健康講座・各種実習を実施します。	医師・歯科医師・健康運動指導士、臨床心理士講座5回、その他健康講座・食育講座6回、出前講座14回開催	医師・歯科医師・健康運動指導士、臨床心理士講座4回、その他健康講座・食育講座6回、出前講座8回開催	医師・歯科医師・健康運動指導士、臨床心理士講座5回、その他健康講座・食育講座8回、出前講座9回開催	12回	A	健康推進課
58	特定健康診査・30代健康診査・後期高齢者医療健康診査	市の国民健康保険加入者で40歳以上74歳までの市民、30歳以上の市民、後期高齢者医療制度に加入している市民に健康診査を実施します。	特定健康診査受診率41.33%	特定健康診査受診率40.61%	特定健康診査受診率42.70%	特定健康診査受診率60%	C	健康推進課
59	情報提供体制の整備	障害のある人の健康への不安や健康づくりに応えるため、健康や医療の情報を積極的に提供していきます。	市報・ツイッター・ホームページ(「心の体温計」運営)による情報提供。心の体温計ポスター掲示、ティッシュの配布。	市報・ツイッター・ホームページ(「心の体温計」運営)による情報提供。心の体温計ポスター掲示、ティッシュの配布。	市報・ツイッター・ホームページ(「心の体温計」運営)による情報提供。心の体温計ポスター掲示、ティッシュの配布(市関係機関、市内店舗、市イベント事業など3,000個配布)	充実	B	健康推進課
60	難病患者等言語リハビリ事業	言語療法士等による言語リハビリ事業を支援します。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
(3)経済的支援の充実 目標:経済的に自立した生活をおくることができる								
61	公共施設等利用料等の障害者負担軽減検討事業	障害者の日常生活の支援のため、公共施設等の利用料等の障害者負担軽減措置について検討していきます。	各課で検討	各課で検討	継続	継続	B	全課
62	ふれあい訪問収集	高齢や障害などの理由により、所定の場所にごみを出すことが困難な世帯を対象に、職員が玄関先で安否を確認しながらごみを収集します。	122世帯	118世帯	113世帯	継続	B	環境対策課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業3:ライフステージを通じた支援の仕組みづくり

【達成状況】①A(目標を上回った) ②B(おおむね達成した) ③C(目標を下回った)

事業番号	成果指標					27～29年度達成状況	所管課
	事業名	内容	実績値				
			27年度	28年度	29年度		29年度
63	グループホーム等に係る家賃助成事業	知的障害者・重度身体障害者等のグループホーム利用者に対し、家賃の一部を助成します。	助成対象者数 34人	助成対象者数 42人	助成対象者数 46人	継続	B 障害福祉課
64	特別障害者手当支給事業	在宅の20歳以上で、精神または身体に著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態(身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1・2度程度の障害が重複または重複と同等の疾病、あるいは精神障害)にある人に支給します。	受給者数 109人	受給者数 110人	受給者数 118人	継続	B 障害福祉課
65	障害児福祉手当支給事業	在宅で精神または身体に重度の障害があるため、日常生活において常時介護を必要とする状態にある20歳未満の児童に支給します。	受給者数 48人	受給者数 44人	受給者数 43人	継続	B 障害福祉課
66	東京都重度心身障害者手当支給事業	在宅で重度の知的障害で、著しい精神症状などのため常時複雑な介護を必要とする人、あるいは、重度の知的障害と身体障害1・2級程度の障害が重複している人、または重度の肢体不自由で両上肢・両下肢の機能が失われ、座っていることが困難な人に支給します。	受給者数 96人	受給者数 95人	受給者数 90人	継続	B 障害福祉課
67	心身障害者福祉手当支給事業	在宅の20歳以上で、身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1～3度、脳性マヒ、進行性筋萎縮症を有する人に支給します。	受給者数 786人	受給者数 799人	受給者数 817人	継続	B 障害福祉課
68	心身障害者特例福祉手当支給事業	在宅の20歳以上で、身体障害者手帳3・4級、愛の手帳4度の人に支給します。	受給者数 645人	受給者数 646人	受給者数 654人	継続	B 障害福祉課
69	特殊疾病者福祉手当支給事業	在宅で東京都難病医療費等助成制度(特殊医療費助成含む)における医療券をお持ちの人に支給します。	受給者数 609人	受給者数 621人	受給者数 658人	継続	B 障害福祉課
70	特別児童扶養手当支給事業	在宅の20歳未満で心身に障害(①身体障害者手帳1～3級程度②愛の手帳1～3度程度③上記と同程度の疾病もしくは身体または精神の障害)がある児童を養育している父母または養育者に支給します。	受給者数 154人	受給者数 160人	受給者数 145人	継続	B 子ども子育てサービス課
71	児童育成手当支給事業	父または母が重度障害の状態(身体障害者手帳おおむね1・2級程度)である場合で、18歳未満の児童を養育している保護者に支給します。	受給者数 19人	受給者数 19人	受給者数 16人	継続	B 子ども子育てサービス課
72	児童育成障害手当支給事業	在宅の20歳未満で、身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1～3度、脳性マヒ、進行性筋萎縮症を有する児童を養育している保護者に支給します。	受給者数 95人	受給者数 104人	受給者数 85人	継続	B 子ども子育てサービス課
73	児童扶養手当支給事業	父または母が重度の障害者(身体障害者手帳おおむね1・2級程度)で、18歳未満(身体障害者手帳1～3級または愛の手帳1～3度程度の障害児の場合は20歳未満)の児童を養育している父、母または養育者に支給します。	父障害での受給者数5人 母障害での受給者数0人	父障害での受給者数6人 母障害での受給者数0人	父障害での受給者数5人 母障害での受給者数0人	継続	B 子ども子育てサービス課
74	心身障害児福祉手当支給事業	20歳未満で、身体障害者手帳1～4級、愛の手帳1～4度、脳性マヒ、進行性筋萎縮症を有する児童を養育している家庭に支給します。ただし、児童育成手当の障害手当受給者は除かれます。	受給者数 191人	受給者数 191人	受給者数 205人	継続	B 子ども子育てサービス課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業3:ライフステージを通じた支援の仕組みづくり

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
75	東京都心身障害者扶養共済支給事業	心身障害者の保護者が死亡または重度障害状態になったときから、障害者へ終身年金を支給し、保護者の不安の軽減と障害者の福祉の向上を図る任意加入の年金制度です。	加入者数 1口 17人 2口 7人	加入者数 1口 17人 2口 7人	加入者数 1口 18人 2口 8人	継続	B	障害福祉課
76	心身障害者(児)医療費の助成	身体障害者手帳1・2級(内部障害者の3級の人も含む)または愛の手帳1・2度の人に対して、心身障害者医療費助成受給者証(マル障)を発行し、病院等で支払う保険の自己負担金の一部を助成します。	医療券所持者数 762人	医療券所持者数 776人	医療券所持者数 777人	継続	B	障害福祉課
77	育成医療	18歳未満で身体に障害を有するまたは、将来障害を残すと認められる人で、手術などにより確実な治療効果が期待でき、世帯の住民税額が一定額未満もしくは障害が「重度かつ継続」の人に対し、その医療保険の自己負担分の一部を助成します。	申請件数 13件	申請件数 6件	申請件数 5件	継続	B	子ども子育てサービス課
78	更生医療	身体障害者手帳を持っている18歳以上の人で、手帳に記載されている障害の程度を軽くしたり取り除いたりする医療について、指定医療機関で診療を行い、その医療保険自己負担分の一部を助成します。	受給者数 39人	受給者数 45人	受給者数 60人	継続	B	障害福祉課
79	養育医療給付	新生児で医師が入院養育を必要と認めた人に支給します。	申請件数 24件	申請件数 24件	申請件数 29件	継続	B	健康推進課
80	精神通院医療	精神疾患を理由として通院医療を受ける場合において、その医療に必要な費用の一部を助成します。	新規申請件数 293件 更新申請件数 1,543件	新規申請件数 286件 更新申請件数 1,614件	新規申請件数 287件 更新申請件数 1,717件	継続	B	障害福祉課
81	小児精神障害者入院医療費助成	精神障害のため精神病室に入院治療を必要とする満18歳未満の人の入院医療費を助成します。	申請件数 6件	申請件数 4件	申請件数 6件	継続	B	障害福祉課
82	難病患者等医療費助成	東京都が認定した難病等に罹患し、疾病ごとに定められた認定基準を満たすが、病院等に支払う保険の自己負担分の一部を助成します。	新規・更新件数 1,173件	新規・更新件数 1,224件	新規・更新件数 1,286件	継続	B	障害福祉課
83	B型・C型肝炎ウイルス肝炎インターフェロン治療医療費助成	都が指定する肝臓専門医療機関で、B型・C型肝炎のインターフェロン治療を要すると診断された人に、インターフェロン治療にかかる保険診療(入院・外来)の医療費のうち、各所得区分における自己負担限度額を超えた金額を1年間助成します。	申請件数 101件	申請件数 68件	申請件数 62件	継続	B	障害福祉課
84	小児慢性疾患医療費助成	東京都が定める疾病に罹患する満18歳未満の人に自己負担金の一部を助成します。	申請件数 113件	申請件数 137件	申請件数 141件	継続	B	健康推進課
85	大気汚染健康障害者医療費助成	気管支喘息、(18歳未満の喘息性気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫か、これらの続発症)に罹患している人に医療費を給付制度(生活保護等)を助成します。	申請件数 643件	申請件数 664件	申請件数 750件	継続	B	健康推進課
86	インフルエンザ予防接種費助成	身体障害者手帳1級(内部障害・年齢要件あり)をお持ちの人が、予防接種実施医療機関においてインフルエンザ予防接種を受けた場合、予防接種料金の約半分に当たる額を助成します。	助成件数 10,668件 (高齢者助成分含)	助成件数 11,171件 (高齢者助成分含)	助成件数 10,833件 (高齢者助成分含)	助成件数 11,000件 (高齢者助成分含)	B	健康推進課
87	身体障害者(児)診断書作成料支給事業	身体障害者手帳の交付を受けようとする人に対し、交付に要する診断書の作成料を支給します。	支給件数 190件	申請件数 222件	申請件数 236件	継続	B	障害福祉課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業3: ライフステージを通じた支援の仕組みづくり

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	成果指標						27～29年度 達成状況	所管課 29年度
	事業名	内容	実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
88	粗大ごみ等廃棄物処理手数料の免除	身体障害者手帳1, 2級, 愛の手帳1, 2度, 精神障害者保健福祉手帳1級の人がある市民税非課税世帯の廃棄物処理手数料を免除します。	免除件数 203件	免除件数 210件	免除件数 212件	継続	B	環境対策課
89	国分寺市営自転車駐車場定期使用料減免	身体障害者手帳, 愛の手帳, 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人の市営自転車駐車場定期使用料を減免します。	減免件数 143件	減免件数 112件	減免件数 130件	減免件数 150件	C	交通対策課
90	国分寺市市体育施設等使用料免除	市内にお住まいの身体障害者手帳, 愛の手帳をお持ちの人及びこれらの介護者がフィットネスルーム, プールなど個人利用するときの施設使用料を免除します。	継続	継続	継続	継続	B	スポーツ振興課
91	身体障害者福祉電話通話料助成事業	重度身体障害者(児)日常生活用具等で電話の貸与を受けている人に, 基本料金及び80度数分の通話料を助成します。	利用者数 5人	利用者数 5人	利用者数 4人	継続	B	障害福祉課
92	郵送による貸出し・返却	郵送で一般図書・声の図書(朗読カセットやCD)・点字図書などを無料で借出します。	継続(68冊)	継続(56冊)	継続(36冊)	拡充	C	図書館課
(4)生涯学習・スポーツの推進 目標:地域活動, ボランティア活動, 文化芸術活動, スポーツを行うことができる環境がある								
93	くぬぎ教室	市内在住, 在学, 在勤の18歳以上の愛の手帳2度～4度をお持ちの人を対象に, サロンなど余暇活動とおして, 仲間作り, 社会性や生きる力を身につける活動を行います。また, 「ステップアップくぬぎ教室」において, 自活にむけた活動支援を行います。	本多は教室年11回・サロン7回, 並木は教室年11回・サロン4回, 恋ヶ窪は教室年11回	本多は教室年11回・サロン6回, 並木は教室年11回・サロン4回, 恋ヶ窪は教室年11回	本多は教室年11回・サロン6回, 並木は教室年11回・サロン4回, 恋ヶ窪は教室年11回	継続	B	公民館課
94	ロビーコンサート	障害者団体と共催し, 同団体の周知と, 障害者との交流を目的に, 市民グループの参加を広く呼びかけ, 毎年開催します。	1回/年	1回/年	1回/年 障害者週間行事と共催	継続	A	公民館課
95	スポーツ推進委員事業	障害のある人が運動を行う場合の指導等の協力を行います。	障害者スポーツに関する研修会に参加	障害者スポーツに関する研修会に参加	障害者スポーツに関する研修会に参加	継続	B	スポーツ振興課
96	児童生徒の地域活動促進事業	国分寺市地域活動連絡会の事業費を補助することで, 障害のある児童生徒の地域活動を促進し事業の充実に努めます。	継続	継続	継続	継続	B	社会教育課
97	アラジン運営委員会事業	アラジン運営委員会の事業費を補助することで, 障害のある青年の地域活動を促進し, 事業の充実に努めます。	継続	継続	継続	継続	B	社会教育課
98	対面朗読	希望する資料を直接利用者に向けて, 読み手が朗読します。	実績なし	実績なし	実績なし	60回	C	図書館課
99	声の図書の収集・作成・貸出し	図書を朗読し, カセットに吹き込んだ声の図書, CDに吹き込んだDAISYを収集・作成し, 貸し出します。	貸出 657タイトル	貸出 687タイトル	貸出 698タイトル	貸出 300タイトル	A	図書館課
100	大活字本	小さな活字で読みにくい人には, 活字の大きな大活字本を収集し貸出します。	貸出 2,339冊	貸出 2,752冊	貸出 2,472冊	貸出 3,500冊	C	図書館課
101	拡大読書器	小さな活字では読みにくい人に, 図書の文字を大きく見せることのできる拡大読書器を設置します。	設置台数 2台	設置台数 3台	設置台数 3台	設置台数 2台	A	図書館課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業3: ライフステージを通じた支援の仕組みづくり

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
(5)交流・福祉教育の充実 目標:障害に応じた教育を受けることができる								
102	教育研究指導事業	障害のある児童生徒と通常学級で学ぶ児童生徒の相互理解を深めるため、各学校の教育課程の中で、交流教育を行います。	特別支援学級が設置されている小中学校において、行事、教科、特別活動等を通して交流を図っている。	特別支援学級が設置されている小中学校において、行事、教科、特別活動等を通して交流を図っている。	特別支援学級が設置されている小中学校において、行事、教科、特別活動等を通して交流を図っている。	推進	B	学校指導課
103	特別支援教育	障害のある子どもの社会的自立に向けて社会性や可能性を伸ばすよう、特別支援教育の教育内容・方法及び教育条件等の一層の充実に努めます。都立特別支援学校との連携を図りながら、それぞれの障害の状態に応じた教育の充実に努めます。	特別支援学級数5校 通級指導学級数5校 特別支援教室数10校	特別支援学級数5校 通級指導学級数5校 特別支援教室数11校	特別支援学級数5校 通級指導学級数5校 サポート教室数12校	推進	B	学校指導課
(6)地域生活の安心・安全の確保 目標:地域で安心して暮らすことができる								
104	災害ボランティアコーディネーター養成	災害ボランティアセンターのスタッフとなるコーディネーター養成講座を実施し、災害時の支援体制を強化します。	防災まちづくり学校のなかで実施	防災まちづくり学校のなかで実施	防災まちづくり学校のなかで実施	継続	B	社会福祉協議会、 防災安全課
105	専門的知識等を持つボランティアの登録	災害時に具体的な対応ができるよう専門的知識等を持つ災害ボランティアを登録します。	発災後の登録に変更 ※登録者数 6名(介護福祉士2, 要約筆記者3, アマチュア無線1)	発災後の登録に変更 ※登録者数 6名(介護福祉士2, 要約筆記者3, アマチュア無線1)	発災後の登録に変更 ※登録者数 6名(介護福祉士2, 要約筆記者3, アマチュア無線1)	継続	B	社会福祉協議会、 防災安全課
106	避難行動要支援者支援マニュアルの活用	災害時に、自らの命を守るためにはどのような必要があるかといったことを、障害児(者)、高齢者などの災害時要援護者とその家族、地域住民等について明確にし、災害時要援護者とその家族、地域住民等の危機管理意識を向上させるため、支援マニュアルを活用し、災害時要援護者とその家族、地域住民が、協力して災害発生時に適切な行動ができるよう啓発を図ります。	新制度向けマニュアル(保存版・簡易版・音声読み上げ対応版)をホームページに掲載。	新制度向けマニュアル(保存版・簡易版・音声読み上げ対応版)をホームページに掲載。	新制度向けマニュアル(保存版・簡易版・音声読み上げ対応版)をホームページに掲載。	継続 マニュアル改訂版印刷の準備 媒体での周知	B	地域共生推進課
107	避難行動要支援者リストの作成と情報提供システムの整備	災害発生時に自力での避難が困難な人を、地域で把握し、迅速・的確な援助ができるような体制をとるため、災害時の援護を希望する要援護者のリストを作成し、要援護者の同意に基づき、消防、警察、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等に情報提供するシステムの整備します。	登録者総数 2,789名 (名簿を支援者へ提供)	登録者総数 2,679名 (名簿を支援者へ提供)	登録者総数 2,692名 (名簿を支援者へ提供)	継続	B	地域共生推進課
108	防犯事業	犯罪等発生時や不審者情報を携帯電話やパソコンなどに送信する「生活安全情報メール配信サービス」を実施します。災害時の情報についても、平成20年度から生活安全情報メールでの配信を実施しています。	登録件数 16,308件	登録件数 16,974件	登録件数 17,572件	登録件数 17,100件	B	防災安全課
109	緊急通報システム・火災安全システム	ひとり暮らし等の重度心身障害者等が家庭内で緊急事態(病気・火災)に陥ったとき、通報機器で東京消防庁に通報することにより、速やかな援助が行われます。	緊急通報システム2件 火災安全システム1件	緊急通報システム2件 火災安全システム1件	緊急通報システム2件 火災安全システム1件	継続	B	障害福祉課
110	市民防災まちづくり学校事業	市民防災まちづくり学校を開催し、安全ですみやすいまちづくり、地域づくりの学習の場を広く提供し、安全なまちづくりに努めます。	受講者数42人 累計1,714人	受講者数45人 累計1,759人	受講者数50人 累計1,809人	受講者数30人	A	防災安全課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業3:ライフステージを通じた支援の仕組みづくり

【達成状況】①A(目標を上回った) ②B(おおむね達成した) ③C(目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
111	防災まちづくり推進地区事業, 市民防災推進委員会事業	町会, 自治会やコミュニティ協議会などと連携を図り, 地域住民による声かけ・見守り運動を推進します。	防災まちづくり推進地区 13地区 委員認定者数 1,157名	防災まちづくり推進地区 14地区 委員認定者数 1,194名	防災まちづくり推進地区 14地区 委員認定者数 1,234名	新規推進地区数1	A	防災安全課
112	震災総合防災訓練事業	災害発生時における避難場所, 誘導方法などの確認, また, 日頃の災害への備えなどについて周知を図ります。	総参加者数 1,162名	総参加者数 1,393名	総参加者数 2,089人	総参加者数 2,000人	B	防災安全課
(7)生活拠点の整備 目標:地域で暮らし続けることができる								
113	障害者単身サポート事業	地域での単身生活を希望するグループホーム入所者に対し, 賃貸借契約による一般住宅への入居に必要な支援を行うとともに, 地域で安心して障害者が暮らし続けられるために, 24時間の支援体制を整備します。	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	継続	B	障害福祉課
114	重度身体障害者(児)住宅整備改善給付事業	在宅の重度の身体障害者(児)に対し, 現在居住する住宅の設備改善(玄関, 便所など)するための費用の給付を引き続き実施していきます。	実績なし	中規模改修4件 屋内移動設備1件	中規模改修1件 屋内移動設備1件	継続	B	障害福祉課
115	住宅の整備事業	市営住宅の入居者募集にあたっては, 公営住宅法に基づき障害者の入居について配慮していきます。	継続	継続	継続	継続	B	契約管財課
(8)移動支援の充実 目標:社会参加しやすくなる								
116	福祉有償運送事業	移動制約者, 移動困難者の通院時等の移動手段の確保に対するニーズを把握し, 公共交通機関では不足するような部分を道路運送法第78条に基づく福祉有償運送を行うNPO法人等の団体により確保します。	2団体実施	2団体実施	2団体実施	継続	B	地域共生推進課
117	福祉有償移送事業所への支援	福祉有償移送事業所の運営費を支援し, 障害者の移動手段の拡充を図ります。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
118	心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	身体障害者手帳 1～2級, 内部障害3級, 愛の手帳 1～2度の人に医学的治療のための通院, 機能回復訓練のための通所等の交通費を助成します。	登録者数 1,415人	登録者数 1,346人	登録者数 1,366人	検討	B	障害福祉課
119	自動車改造費の助成	自動車の操向装置などの自動車改造費用を助成します。	助成件数1件	助成件数0件	助成件数0件	継続	B	障害福祉課
120	自動車運転教習費用の補助	教習所の入所料, 教習料など助成対象経費の2/3の額を補助します。	助成件数1件	助成件数1件	助成件数0件	継続	B	障害福祉課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業4:障害児発達支援に向けた取組の充実

【達成状況】①A(目標を上回った) ②B(おおむね達成した) ③C(目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標			27～29年度達成状況	所管課	
			実績値					目標値
			27年度	28年度	29年度			29年度
(1)障害の早期発見・早期支援 目標:障害の早期発見・早期支援ができる								
121	乳幼児・妊産婦健康診査 乳幼児・妊産婦歯科健診	3・4箇月児、6～7箇月児、9～10箇月児、1歳6か月児、3歳児健診、発達健診、経過観察健診、精密健診を実施し、発育・発達状態を確認します。各段階で健康診査を行うことにより、保護者及び乳幼児の疾病や障害の早期発見をし、早期支援が行えるよう関係機関との連携を強化します。	未把握数 7人 集団健診は各健診原則月2回。 6・9か月児は個別医療機関受診。 妊婦歯科健診は月1回 幼児歯科健診は年15回	未把握数 0人 集団健診は各健診原則月2回。 6・9か月児は個別医療機関受診。 妊婦歯科健診は月1回 幼児歯科健診は年15回	未把握数 3人 集団健診は各健診原則月2回。 6・9か月児は個別医療機関受診。 妊婦歯科健診は月1回 幼児歯科健診は年15回	未受診者の未把握数0を目指す	B	健康推進課
122	心理相談・乳幼児育成事業	1歳6ヶ月児健診、3歳児健診で発達支援が必要とされるお子さんについての個別相談を実施し、育児への助言や障害の有無についてスクリーニングを行います。必要時、発達健診や精密健診へつなぎます。また、乳幼児育成事業では、親子遊びを通じて育児への助言と集団場面での様子を観察して発達の支援を行います。	個別相談18回 心理相談件数 1歳6箇月～3歳未満:延べ145人、3歳以上:延べ345人 発達健診受診者:延べ82人、育成事業(月1回):延べ158人	個別相談17回 心理相談件数 1歳6箇月～3歳未満:延べ176人、3歳以上:延べ376人 発達健診受診者:延べ81人、育成事業(月1回):延べ178人	発達健診18回 心理相談件数 1歳6箇月～3歳未満:延べ154人、3歳以上:延べ395人 発達健診受診者:延べ80人、育成事業(月1回):延べ134人	個別相談年18回	B	健康推進課
123 (40)	教育相談事業	適切な教育対応を可能にするために、障害の状態を的確に判断するとともに、保護者等の十分な理解を得るため、教育相談や就学相談との連携を図れるよう努めます。	相談件数 396件	相談件数 383件	相談件数 396件	推進	B	学校指導課
124	障害児への相談機能の整備	障害のある児童生徒の障害や心理に対する理解を深めるため、担当教員の研修を実施するなど相談機能の強化・充実を図ります。	特別支援教育コーディネーター推進委員会 年2回 特別支援教育研修会 年7回	特別支援教育コーディネーター推進委員会 年4回 特別支援教育研修会 年5回	特別支援教育コーディネーター推進委員会 年4回 特別支援教育研修会 年5回	推進	B	学校指導課
125	訪問指導事業	乳児全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)における産後うつスクリーニング、各種保健事業で個別対応が必要な人及び希望者に保健師等が訪問し、障害の早期発見・早期治療・早期支援に努めます。	訪問実施率92% 産婦訪問:実1029(延1058)件、新生児訪問:実1004(延1111)件、精神保健一般相談訪問(実)53件(延)168件	訪問実施率 95.8% 産婦訪問:実1,018(延1026)件、新生児訪問:実919(延1112)件	訪問実施率 95% 産婦訪問:実879(延927)件、新生児訪問:実961(延1090)件	訪問実施率 100%	B	健康推進課
126	早期支援体制の構築推進	家族支援を含めた障害者への支援体制をシステムとして構築します。予防や訪問等による早期支援、家族支援が速やかにかつ継続して行われるように、情報の周知・相談体制の整備と併せて関係機関と調整の上支援体制を整備します。	市ホームページに「心の体温計」をリンクし、気軽に心身の健康チェックができるしくみを継続。業務連絡会で事例検討や情報共有を実施。保健所と協力し未治療者への支援実施。	市ホームページに「心の体温計」をリンクし、気軽に心身の健康チェックができるしくみを継続。業務連絡会で事例検討や情報共有を実施。保健所と協力し未治療者への支援実施。	市ホームページに「心の体温計」をリンクし、気軽に心身の健康チェックができるしくみを継続。保健所、多摩総合精神保健福祉センター、プラッツとの連絡会で事例検討や情報共有を実施。保健所と協力し未治療者への支援実施。	多職種・関係機関連携体制の充実	B	健康推進課 障害福祉課
127	母子保健相談事業	乳幼児母性健康相談や親子ひろばでのミニ相談会や電話・訪問等による個別相談を実施します。	乳幼児母性健康相談9回 親子ひろばミニ相談会21回	乳幼児母性健康相談9回 親子ひろばミニ相談会18回	乳幼児母性健康相談9回 親子ひろばミニ相談会18回	乳幼児母性健康相談 9回	A	健康推進課
128	親子ひろば	障害児も含む乳幼児(主に0～3歳)とその保護者、妊娠期の人が安心して集える場で、育児相談も行います。	13ヶ所	14ヶ所	11ヶ所	継続	B	子育て相談室

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業4:障害児発達支援に向けた取組の充実

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		29年度
129	児童館の運営(行事等)	18歳未満の子どもと乳幼児保護者に対し、遊びの啓発や、様々な体験の場の設定、子どもの権利の視点にたち、子育てに関する情報の提供、軽易な相談などを行います。	各年齢、ニーズに則した企画数(6館計)705回	各年齢、ニーズに則した企画数(6館計)705回	各年齢、ニーズに則した企画数(6館計)891回	継続	B	子ども子育て事業課
130	情報提供体制の整備	障害のある人の健康への不安や健康づくりに応えるため、健康や医療の情報を積極的に提供していきます。	市報・ツイッター・ホームページ(「心の体温計」運営)による情報提供。心の体温計ポスター掲示、ティッシュの配布。	市報・ツイッター・ホームページ(「心の体温計」運営)による情報提供。心の体温計ポスター掲示、ティッシュの配布。	市報・ツイッター・ホームページ(「心の体温計」運営)による情報提供。心の体温計ポスター掲示、ティッシュの配布(市関係機関、市内店舗、市イベント事業など3,000個配布)	充実	B	健康推進課
(2)療育・教育の充実(障害児支援の充実) 目標:ニーズに応じた療育・教育を受けることができる								
131	こどもの発達センターつくしんぼの事業	心身障害児や発育上一時的に援助を必要としている児童に対して、適切な指導援助を行うとともに、保護者の相談を受け支援の拡大を図ります。また、一貫した支援ができるようネットワークづくりを推進します。発達障害に対する相談業務の拡充を図ります。	相談件数 4,173件	相談件数 4,425件	相談件数 3,855件	継続	B	子育て相談室
132	統合保育事業	公立保育園・私市立保育園を問わず全園で受入れを実施しています。	19園 (公立7園・私立12園)	20園 (公立6園・私立14園)	19園 (公立5園・私立14園)	全園	C	子ども子育て事業課
133	学童保育所の保育	保護者就労等により、適切な監護を受けられない児童について、家庭に代わり保育します。	障害児定員枠 小学生74人 中学生14人	障害児定員枠 小学生74人 中学生16人	障害児定員枠 小学生74人 中学生16人	小学生については、学童保育所の整備に合わせて定員増・中学生16人	B	子ども子育て事業課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業5:障害のある人の就労の場の拡大に向けた取組の推進

【達成状況】①A(目標を上回った) ②B(おおむね達成した) ③C(目標を下回った)

事業 番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度 達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度	29年度	
(1)一般就労支援の充実 目標:一般就労することができる								
134	障害者就労支援センター	障害者の一般就労の機会を拡大を図ると共に、障害者が安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面と生活面の支援を一体的に提供します。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
135	障害者雇用の促進	国分寺市役所の障害者雇用法定雇用率の維持に努めます。	法定雇用率2.3% 市雇用率2.34%	法定雇用率2.3% 市雇用率2.34%	法定雇用率2.3% 市雇用率2.39%	法定雇用率以上	A	職員課
(2)福祉的就労の充実 目標:適正に応じた働き方をすることができる								
136	庁舎内等の製品の販売支援	障害者等が作成した製品を庁舎内駐車場等において利用し、販売することにより訓練意欲の向上を図ります。	3ヶ所 2事業所	8ヶ所 3事業所	8ヶ所 3事業所	拡充	A	障害福祉課
137	庁舎清掃委託	庁舎清掃業務を委託し、就労の場の確保をします。	5ヶ所 6団体に委託	5ヶ所 5団体に委託	5ヶ所 5団体に委託	継続	B	契約管財課
138	公園清掃・除草等委託	都市公園・都市公園以外の公園等の清掃・除草業務を委託し、就労の場を確保します。	公園等の委託箇所数 39箇所	公園等の委託箇所数 37箇所	公園等の委託箇所数 37箇所	継続	B	緑と建築課
139	樹林地・用水路の清掃・除草等委託	樹林地・用水路の清掃・除草業務を委託し、就労の場を確保します。	委託箇所数 7箇所	委託箇所数 7箇所	委託箇所数 7箇所	継続	B	緑と建築課
140	市民農園トイレ清掃委託	市民農園トイレの清掃業務を委託し、就労の場を確保します。	6農園清掃委託 障害者団体2団体	6農園清掃委託 障害者団体2団体	6農園清掃委託 障害者団体2団体	継続	B	経済課
141	放置自転車撤去	放置自転車撤去業務を委託し、就労の場を確保します。	委託障害者団体数 1団体	委託障害者団体数 1団体	委託障害者団体数 1団体	委託障害者団体数 3団体	C	交通対策課
142	障害者による地域緑化推進	市内障害者施設等が、公園や街路等における植栽など、地域での緑の創出、保全を委託し、工賃引き上げを推進します。	委託箇所数 3ヶ所	委託箇所数 3ヶ所	委託箇所数 3ヶ所	継続	B	障害福祉課
143	資源物整理・リサイクル紙袋作成及びびたい肥袋詰め作業委託	清掃センター内における資源物の整理・資源回収した新聞紙等を利用したその他の紙類排出用紙袋の作成及び市民配布用たい肥の袋詰め作業を委託し、就労の場を確保します。	委託障害者団体数 2団体	委託障害者団体数 2団体	委託障害者団体数 2団体	継続	B	ごみ減量推進課
(3)働く力の向上 目標:働くための支援を受けることができる								
144	就労支援推進委員会の庁内連絡会	庁内関係部署間の情報交換や調整を図り、就労支援策の効率的・効果的な推進を図るため、庁内連絡会を開催します。これにより、庁内関係部署による情報の共有化や、就労支援施策の進行管理に取り組みます。	年3回開催	年3回開催	年2回開催	年2回開催	B	経済課
145	就労支援のための関係機関との連携	地域雇用創出に向けた情報交換、就労支援事業を進めるため、国分寺市就労支援地域連絡会を開催します。地域連絡会では、関係機関・団体との意見・情報交換、連携のほか、地域雇用の創出を目的とした事業について検討を進めています。	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催	B	経済課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業5:障害のある人の就労の場の拡大に向けた取組の推進

【達成状況】①A(目標を上回った) ②B(おおむね達成した) ③C(目標を下回った)

事業 番号	成果指標						27～29年度 達成状況	所管課
	事業名	内容	実績値			目標値		29年度
			27年度	28年度	29年度	29年度		
146 (134)	障害者就労支援センター	障害者の一般就労の機会の拡大を図ると共に、障害者が安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面と生活面の支援を一体的に提供します。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
147	市役所内実習	就労支援センターとの協働により職場実習を実施します。	年3回実施6名が6日間で3課の仕事を実施。	年5回実施13名が9日間で6課の作業を実施。	年5回実施13名が10日間で3課の作業を実施	年2回実施	A	障害福祉課
(4)地域社会への働きかけ 目標:障害のある人が働き続けることができる								
148	就労支援センター運営委員会	就労支援センター運営委員会を通し、障害別、個別・効果的な支援のあり方を検討、職場開拓・就労支援ネットワーク構築を行います。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
149	地域開拓促進コーディネーターの配置	就労支援センターにおいて、一般就労の移行に関し、施設経営者、職員、利用者、親などへの積極的に働きかけ、企業開拓、企業支援などを行う職員を配置します。	1名	1名	1名	継続	B	障害福祉課
150	協力店舗登録証の交付	就労支援センターを通しての企業実習を受け入れる店舗に対し、登録証を交付し、実習先の確保に努めます。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
151	入札参加業者の障害者雇用の格付け加算	市の入札参加資格審査申請において障害者の雇用状況を登録させ、業者選定に反映するとともに、障害者雇用の市内業者には格付けに際し加算します。	継続	継続	継続	継続	B	契約管財課
152	障害者雇用啓発事業	就労支援センターにおいて、事業主や支援者を対象とした、セミナー等を実施します。	開催回数 1回	開催回数 1回	開催回数 1回	継続	B	障害福祉課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業6:保健・医療・福祉の連携の推進

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
(1)保健・医療・福祉の連携 目標:障害の特性に応じた支援を受けることができる								
153	歯科医療連携推進事業	歯科衛生士が障害者等歯科相談窓口でかかりつけ歯科医を探すことが困難な障害者・在宅要介護者等の相談を受け、身近な地域で適切な歯科医療を受けられるよう、歯科医師会コーディネーターと連携して対応します。	相談件数 電話:91件 訪問:5件 面接:15件	相談件数 電話:114件 訪問:23件 面接:24件	相談件数 電話:51件 訪問:2件 面接:6件	継続	B	健康推進課
(2)相談・支援体制の充実(再掲) 目標:身近な地域で相談支援を受けることができる								
154 (31)	福祉の総合的な相談窓口の体制整備	福祉の総合的な相談窓口の体制整備が求められていることから、これまでの検討経過を踏まえ、市民が安心して相談できる窓口の体制を整備します。	・地域福祉計画の策定に当たり収集した市民意見のうち、総合相談窓口に関する意見を報告書にまとめた。 ・総合相談窓口の先進市の状況を視察した。 ・厚生労働省が検討している「一体的相談支援・サービス提供」についての勉強会を持ち、総合相談窓口のあり方について、福祉保健部職員の共通認識を図った。	・平成29年度からの機構改革の実施に伴い、第2庁舎1階の福祉保健部及び子ども家庭部の窓口の在り方について、ワンストップサービスが可能となるようなレイアウト変更の検討を行った。 ・地域における「(仮称)地域相談窓口」の試行実施について、地域福祉推進委員会で検討を開始した。	機構改革の実施に伴い、第2庁舎1階の福祉保健部及び子ども家庭部の窓口について、ワンストップサービスが可能なレイアウトに変更した。 福祉保健部・子ども家庭部相談支援担当者における業務連絡会を開催し、総合相談支援フローチャートや相談支援業務の連携のための仕組み等、総合相談へ向けての検討を行った。 地域における「(仮称)地域相談窓口」の試行実施について、地域福祉推進委員会で検討を行った。	体制の整備	C	地域共生推進課
155 (32)	相談支援機能強化	市の窓口における相談支援機能を強化するため、専門的能力を有する職員を配置します。	社会福祉士2名 保健師1名	社会福祉士2名 保健師3名	社会福祉士4名 保健師4名	継続	A	障害福祉課
156 (33)	相談支援	相談支援事業所にて障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整等を総合的に支援します。	8事業所	7事業所	7事業所	9事業所	C	障害福祉課
157 (34)	精神保健医療相談(心の健康相談)	精神科専門医師による個別相談を精神科医師及び保健師が担当し、月1回予約制で実施。精神障害者及びその家族からの医療に関する専門的な相談に応じます。	開催回数 12回 相談者数 26人	開催回数 9回 相談者数 19人	開催回数 10回 相談者数 24人	12回	B	障害福祉課
158 (35)	こどもの発達相談	心身の発達に心配のある、または発達に遅れのあることにも関する相談を実施します。	初診相談者数118件	初診相談者数108件	初診相談者数120件	継続	B	子育て相談室
159 (36)	精神保健相談	心の問題や精神障害者の生活相談について、保健師が電話・面接訪問等による相談を行います。	保健師による相談件数 面接:105件 電話:404件 訪問:194件 関係機関連絡:445件	保健師による相談件数 面接:147件 電話:511件 訪問:196件 関係機関連絡:429件	保健師による相談件数 面接:140件 電話:313件 訪問:133件 関係機関連絡:427件	継続	B	障害福祉課
160 (37)	高次脳機能障害者支援促進	高次脳機能障害者、その家族等に対する相談支援を実施するとともに、医療機関、就労支援センター等の関係機関との連携を図り、適切な支援を提供します。障害者センターで実施していきます。	1箇所	1箇所	1箇所	継続	B	障害福祉課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業6:保健・医療・福祉の連携の推進

【達成状況】①A(目標を上回った) ②B(おおむね達成した) ③C(目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
161 (38)	社会福祉事業協力員事業	身体障害者,知的障害者,精神障害者,難病患者,高次脳機能障害者及び発達障害者の生活などに関する相談,助言を行う相談員を配置します。	身体障害者3人 知的障害者2人 精神障害者1人 難病患者1人	身体障害者2人 知的障害者2人 精神障害者1人 難病患者1人	身体障害者2人 知的障害者2人 精神障害者1人 難病患者1人	継続	B	障害福祉課
162 (39)	ピアカウンセリング支援	障害者がかかえる,さまざまな問題の解決にあたるための活動としてのピアカウンセリングに対する支援をします。	継続	継続	継続	継続	B	障害福祉課
163 (40)	教育相談事業	適切な教育対応を可能にするために,障害の状態を的確に判断するとともに,保護者等の十分な理解を得るため,教育相談や就学相談との連携を図れるよう努めます。	相談件数 396件	相談件数 383件	相談件数 396件	推進	B	学校指導課
(3)関係機関のネットワークの充実(再掲) 目標:個々のニーズに対応した支援を総合的に行う								
164 (41)	自立支援協議会の運営	地域における障害福祉に関する関係者による連携及び支援の体制に関する協議を行うため自立支援協議会を運営します。	年4回	年3回	年3回	年4回	B	障害福祉課
165 (42)	相談支援事業者連絡会の運営	相談支援事業者連絡会を設置・運営し,本人のニーズに則した福祉サービスについて支援していきます。	年3回	年2回 (地域自立支援協議会専門部会に再編分を含む)	年4回 (地域自立支援協議会専門部会に移行)	年3回	B	障害福祉課
166 (43)	居宅介護事業者連絡会の運営	居宅介護事業者連絡会を設置・運営し,事業者間の情報交換及び連携をはかります。	年2回	年2回 (地域自立支援協議会専門部会に再編分を含む)	年4回 (地域自立支援協議会専門部会に移行)	年4回	B	障害福祉課
167 (44)	難病等の相談体制の整備	健康推進課・障害者相談室,障害者センター,保健所などの連携・協力により,相談体制の充実に努めます。	難病等で長期療育の必要がある方へ相談実施,保健所との連携	難病等で長期療育の必要がある方へ相談実施,保健所との連携	難病等で長期療育の必要がある方へ相談実施,保健所との連携	充実	B	健康推進課 障害福祉課
168 (45)	障害児(者)の個別支援システムの構築	障害児(者)を一生涯にわたり切れ目なく一貫した支援をすることを目的として,個別の支援に必要な情報を関係機関で共有するためのネットワーク体制作りを,福祉保健部・子ども福祉部・教育部等が協力して推進します。	中断	中断	中断	継続	B	子育て相談室
169 (46)	精神保健福祉業務連絡会	市関係機関,保健所,多摩総合精神保健福祉センター,専門の民間事業者,相談事業者などの連携・協力により,相談体制の充実に努めます。	連絡会・世話人会を年6回開催.情報交換・事例検討実施	年3回 (地域自立支援協議会専門部会に再編分を含む)	年4回実施 (地域自立支援協議会専門部会に移行)	年6回	B	障害福祉課
170 (47)	教育・就学相談体制の整備	早期から適切な教育相談・就学相談が行えるよう,関係機関と連携し,相談体制の充実に努めます。	個別支援委員会 年17回	個別支援委員会 年18回	個別支援委員会 年15回	推進	B	学校指導課
171 (48)	進学等への支援	中学校課程終了後は,高等学校や特別支援学校の高等部,専門学校や職業訓練校への進学等,多様な選択が可能になるよう関係機関に要請していきます。	特別支援学級が設置されている中学校において実施している	特別支援学級が設置されている中学校において実施している	特別支援学級が設置されている中学校において実施している	推進	B	学校指導課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業7:サービス人材等の確保

【達成状況】①A (目標を上回った) ②B (おおむね達成した) ③C (目標を下回った)

事業番号	事業名	内容	成果指標				27～29年度達成状況	所管課
			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	29年度		
(1)障害理解・病気理解の促進 目標:障害に応じたサービスを提供することができる								
172	教員研修の推進	学級担任のための障害児教育にかかわる研修会や情報交換等の研修を行います。	特別支援教育コーディネーター推進委員会 年2回 特別支援教育研修会 年7回	特別支援教育コーディネーター推進委員会 年4回 特別支援教育研修会 年5回	特別支援教育コーディネーター推進委員会 年4回 特別支援教育研修会 年5回	推進	B	学校指導課
173	保育士研修の推進	障害児療育に関わる研修を行います。	市立保育所障害児委員会委員対象研修(講座及び見学)	市立保育所障害児委員会委員対象研修(講座及び見学)	各機関との連携 保育コーディネーター研修 (3名×9回)	療育を必要とする児童が増加傾向にあるために、研修の実施に加え関係機関との更なる連携を強化し対応する。	B	子ども子育て事業課
(2)サービスを担う人材の養成と確保 目標:質の高いサービスを提供することができる								
174	福祉サービス第三者評価受審支援事業	サービス提供事業者の第三者評価受審費用を補助し、福祉サービス第三者評価の普及・受審促進を図ります。障害者福祉サービス事業者の第三者評価の受審促進を図ります。	実績なし	障害福祉サービス提供事業者の第三者評価受審件数 6件	実績なし	継続	B	地域共生推進課
175	日中活動系サービス第三者評価受審支援事業	日中活動系サービス提供事業者の第三者評価受審費用を補助し、福祉サービス第三者評価の普及・受審促進を図ります。	2事業所	3事業所	1事業所	継続	B	障害福祉課
176	障害の状態に応じた体育指導者の養成・確保	スポーツ推進委員協議会及び体育協会、指定管理者と協力しながら、指導者の人材の養成・確保に努めます。	ニュースポーツ等の研修会や実技研修等に参加	ニュースポーツ等の研修会や実技研修等に参加	ニュースポーツ等の研修会や実技件数等参加	継続	B	スポーツ振興課
(3)ボランティア等の育成・活動強化 目標:身近な地域で支援してくれる人ができる								
177	児童館における、ボランティア受け入れ事業	児童館において、通常の運営以外に、春・夏・冬休み期間中に、社会福祉協議会登録者のボランティアを受け入れます。また、中学生の体験学習や、近隣の各高校や大学からの実習生を受け入れます。	受け入れ人数 35人	受け入れ人数 57人	受け入れ人数 53人	受け入れ人数 80人	C	子ども子育て事業課
178	くぬぎ教室スタッフ説明会	くぬぎ教室活動に関わっているスタッフから体験を交えた話を聞いて、知的障害者への理解を深め、教室のスタッフの確保に努めます。	説明会は実施なし。近隣の大学等へ呼びかけを行った	説明会は実施なし。近隣の大学等へ呼びかけを行った	「ボランティア養成講座」(全3回)を実施	継続	B	公民館課
179	市民活動団体等の支援	市民活動センターにて、市民活動団体の「登録制度」による相互の情報交換や協力、連携を図ります。また、登録団体等に会議室や機材の貸し出しを行い、活動の支援を行います。	継続 (登録143団体)	継続 (登録147団体)	継続 (登録139団体)	継続	B	協働コミュニティ課
180	ボランティア活動等の支援	公民館を利用している団体に対し、印刷機の貸し出しや必要備品の保管場所の確保等、活動の支援を行います。	希望のあった団体すべてに対応	希望のあった団体すべてに対応	希望のあった団体すべてに対応	継続	B	公民館課

国分寺市障害者計画 平成27～29年度達成状況一覧

重点事業7:サービス人材等の確保

【達成状況】①A（目標を上回った） ②B（おおむね達成した） ③C（目標を下回った）

事業 番号	成果指標						27～29年度 達成状況	所管課
	事業名	内容	実績値			目標値		29年度
			27年度	28年度	29年度	29年度		
(4)障害当事者・家族への支援 目標:当事者同士で交流することができる								
181	障害当事者団体等の育成	障害のある当事者が、様々な活動をとおり、お互いに支援し合いながら、自立と社会参加できるよう、当事者団体の育成と支援をします。	4団体	4団体	4団体	継続	B	障害福祉課
182	障害当事者団体等の活動支援	公民館を利用している団体に対し、印刷機の貸し出しや必要備品の保管場所の確保等、活動の支援を行います。	希望のあった団体すべてに対応	希望のあった団体すべてに対応	希望のあった団体すべてに対応	継続	B	公民館課
(5)障害者支援の充実 目標:福祉を支える人材が、安心して働くことができる								
183 (51)	ヘルパーレベルアップ研修	事業者連絡会によるヘルパーのレベルアップを目的とした研修を行います。	未実施	未実施	未実施	継続	C	障害福祉課
184	日中活動系サービス推進事業	日中活動系サービスを実施する事業者に対し、運営費を補助します。	6事業所	7事業所	7事業所	継続	B	障害福祉課
185 (42)	相談支援事業者連絡会の運営	相談支援事業者連絡会を設置・運営し、本人のニーズに則した福祉サービスについて支援していきます。	年3回	年2回 (地域自立支援協議会専門部会に再編分を含む)	年4回 (地域自立支援協議会専門部会に移行)	年3回	B	障害福祉課
186 (43)	居宅介護事業者連絡会の運営	居宅介護事業者連絡会を設置・運営し、事業者間の情報交換及び連携をはかります。	年2回	年2回 (地域自立支援協議会専門部会に再編分を含む)	年4回 (地域自立支援協議会専門部会に移行)	年4回	B	障害福祉課